

## 現状と重点課題

## 分野別の取り組みと目標値

### 現 状

＜がんによる死亡者＞  
 本県では約3,500人ががんで亡くなり、死因の第1位  
 （全死亡者の約3割、50～70歳代では4割以上）

○75歳未満年齢調整死亡率（H28）では、**胃がんが全国値を上回っている**  
 ※県8.6 全国8.5（人口10万対）  
 ※その他の部位は全国値を下回っている  
 ※（参考：H27）県：11.6 全国9.1（人口10万対）

○働く世代（40～64歳）の死亡率（H28）では、**胃・乳がんが全国値を上回っている**  
 ※胃：県15.2 全国12.9、乳：県25.9 全国24.3（人口10万対）  
 ※乳がんについては、40～50歳の死亡率をみると、全国値との差が更に大きくなっている。（県26.1 全国21.1（人口10万対））

＜罹患状況＞  
 ○年齢調整罹患率（H25）では、特に**胃がんが全国値を大きく上回っている**  
 ※県64.7 全国50.9（人口10万対）  
 ※他に大腸・肝・乳がんが全国値を上回っているが、その差は10ポイント未満  
 ※（参考：H24（胃がん））県：63.4 全国51.7（人口10万対）

＜がん検診受診率＞  
**目標50%に達していない**  
 胃12.9%、肺33.8%、大腸26.6%、乳29.6%、子宮27.5%（H27）

＜精密検査受診率＞  
**目標90%に達していない**  
 胃88.6%、肺89.6%、大腸75.7%、乳92.2%、子宮81.1%（H26）

### 重点課題

- ① **がん検診受診率向上**
- ② **胃がん・働く世代（40～64歳）の乳がんの予防対策の強化**
- ③ **たばこ対策の充実**
- ④ **がん患者が必要に応じた医療を受けられるがん医療提供体制**
- ⑤ **小児・AYA世代のがんへの支援**

### 施策の柱 1. 予防の強化と早期発見の推進

(1) がんにかからない生活習慣の確立（計画本体P30～35）

① 子どもの頃からの正しい知識の普及  
 ② 望ましい生活習慣の確立

③ たばこ対策の充実、強化

④ ウイルスや細菌など感染の予防

⑤ がんの早期発見体制の強化（計画本体P36～40）

① 検診受診率の向上  
 ・がん検診受診料負担の軽減のための節日年齢と重点年齢併設  
 ※30年度より重点年齢検診に胃がんを追加  
 ・職域における受診率向上に向けた取り組みの推進

② 効果的検診手法等の普及  
 ③ 検診精度の向上

【現状】 【目標値（2023年度）】

★食塩摂取量の減少 : 男性11.0g（H28）、女性9.1g（H28） → 男性8.0g、女性7.0g（2022年度）※  
 ★野菜摂取量の増加 : 280.0g（H28） → 350g（2022年度）※  
 ★成人の喫煙率減少 : 男性26.9%（H28）、女性4.8%（H28） → 男性21%、女性2%（2022年度）※  
 ★受動喫煙の機会減少(a) : 行政0%（H28）、医療10.6%（H28）、職場21.2%（H26） → 行政0%、医療0%、受動喫煙のみ、職場、家庭0%（2022年度）※  
 ★受動喫煙の機会減少(b) : 行政7.8%、医療5.2%、職場38.2%、家庭12.4%（H28） → 行政0%、医療0%、受動喫煙のみ、職場、家庭0%（2022年度）※  
 ※受動喫煙の機会減少(a)は、各施設の禁煙や分煙の状況を調査した結果であり、(b)は県民に対して直近1ヶ月間、受動喫煙の頻度(家庭のみ毎日)を調査したものである。

① 子どもの頃からの正しい知識の普及  
 ② 望ましい生活習慣の確立  
 ③ たばこ対策の充実、強化  
 ④ ウイルスや細菌など感染の予防

① 富山県のがん診療体制の強化  
 拠点病院の機能継続・強化、県全体のがん医療水準の向上

② 手術療法、放射線療法、薬物療法、支持療法のさらなる充実とチーム医療の推進

③ がん医療を担う専門的な医療従事者の育成及び資質の向上

④ がんゲノム医療・免疫療法を含めた最新の医療技術への対応

⑤ がんと診断された時からの緩和ケアの推進

① がん登録の推進  
 ※H28年1月より、国の事業として全国一律に実施される「全国がん登録」制度が実施

② 臨床研究の推進

① がん患者の就労を含めた社会的な問題への対応

② 小児・AYA世代のがん対策

③ 高齢者のがん対策

④ がんの教育・普及啓発

① 患者及びその家族の相談支援の充実

② 在宅療養支援体制・地域緩和ケアの充実

③ がん患者の活動支援

④ がんの教育・普及啓発

① がん患者の就労を含めた社会的な問題への対応

② 小児・AYA世代のがん対策

③ 高齢者のがん対策

④ がんの教育・普及啓発

### 施策の柱 2. 質の高い医療の確保

(1) 質の高い医療が受けられる体制の充実（計画本体P42～49）

① 富山県のがん診療体制の強化  
 拠点病院の機能継続・強化、県全体のがん医療水準の向上

② 手術療法、放射線療法、薬物療法、支持療法のさらなる充実とチーム医療の推進

③ がん医療を担う専門的な医療従事者の育成及び資質の向上

④ がんゲノム医療・免疫療法を含めた最新の医療技術への対応

⑤ がんと診断された時からの緩和ケアの推進

① がん登録の推進  
 ※H28年1月より、国の事業として全国一律に実施される「全国がん登録」制度が実施

② 臨床研究の推進

① がん患者の就労を含めた社会的な問題への対応

② 小児・AYA世代のがん対策

③ 高齢者のがん対策

④ がんの教育・普及啓発

① 患者及びその家族の相談支援の充実

② 在宅療養支援体制・地域緩和ケアの充実

③ がん患者の活動支援

④ がんの教育・普及啓発

### 施策の柱 3. 患者支援体制の充実

(1) がん患者の支援体制の充実（計画本体P50～55）

① 患者及びその家族の相談支援の充実

② 在宅療養支援体制・地域緩和ケアの充実

③ がん患者の活動支援

④ がんの教育・普及啓発

(2) 働く世代やライフステージに応じたがん対策の充実（計画本体P56～58）

① がん患者の就労を含めた社会的な問題への対応

② 小児・AYA世代のがん対策

③ 高齢者のがん対策

④ がんの教育・普及啓発

【現状】 【目標値（2023年度）】

★(市町村)のがん検診受診率: 12.9%～33.8%（H27）→50%以上  
 〆(市町村・職域を合わせた)〆〆: 39.9%～50.5%（H28）→〆〆  
 〆〆働く世代（40～64歳）の乳がん死亡率減少  
 : 25.9（H28、人口10万対）→減少する  
 ※本県の働く世代の乳がん死亡率が全国値を上回っているため、特に注意が必要との観点より目標として設定したもの

【現状】 【目標値（2023年度）】

★高度先端医療、臨床研究及び治験の実施体制の充実 : - 充実する

【現状】 【目標値（2023年度）】

★県がん総合相談支援センター等における相談件数の増加 : 4,530件（H27） → 増加する  
 ★ピア・サポーター数の増加 : 71名（H28） → 155名  
 ★ピア・サポーターによる患者サロン等の開催回数の増加 : 38回（H28） → 増加する  
 ★がん予防推進員数の増加 : 519名（H28） → 700名  
 ★がん対策推進員数の維持 : 5,401名（H28） → 維持する

【現状】 【目標値（2023年度）】

★県がん総合相談支援センター等における相談件数の増加 : 4,530件（H27） → 増加する  
 ★ピア・サポーター数の増加 : 71名（H28） → 155名  
 ★ピア・サポーターによる患者サロン等の開催回数の増加 : 38回（H28） → 増加する  
 ★がん予防推進員数の増加 : 519名（H28） → 700名  
 ★がん対策推進員数の維持 : 5,401名（H28） → 維持する

【現状】 【目標値（2023年度）】

★県がん総合相談支援センター等における相談件数の増加 : 4,530件（H27） → 増加する  
 ★ピア・サポーター数の増加 : 71名（H28） → 155名  
 ★ピア・サポーターによる患者サロン等の開催回数の増加 : 38回（H28） → 増加する  
 ★がん予防推進員数の増加 : 519名（H28） → 700名  
 ★がん対策推進員数の維持 : 5,401名（H28） → 維持する

【現状】 【目標値（2023年度）】

★地域連携クリティカルパスの運用件数の増加 : 200件（H28） → 500件  
 ★拠点病院における多職種チーム医療体制の整備（がん医療関連チーム数の増加） : 57チーム（H28） → 100チーム  
 〆〆がん看護臨床実践研修の修了者数 : 158名（H29.8月現在） → 340名  
 ★がん分野の認定看護師数 : 90名（H29.8月現在） → 増加する  
 〆〆「がんゲノム医療中核拠点病院」と本県の拠点病院との連携構築 : -（H29） → 構築する

【現状】 【目標値（2023年度）】

★高度先端医療、臨床研究及び治験の実施体制の充実 : - 充実する

【現状】 【目標値（2023年度）】

★県がん総合相談支援センター等における相談件数の増加 : 4,530件（H27） → 増加する  
 ★ピア・サポーター数の増加 : 71名（H28） → 155名  
 ★ピア・サポーターによる患者サロン等の開催回数の増加 : 38回（H28） → 増加する  
 ★がん予防推進員数の増加 : 519名（H28） → 700名  
 ★がん対策推進員数の維持 : 5,401名（H28） → 維持する

【現状】 【目標値（2023年度）】

★県がん総合相談支援センター等における相談件数の増加 : 4,530件（H27） → 増加する  
 ★ピア・サポーター数の増加 : 71名（H28） → 155名  
 ★ピア・サポーターによる患者サロン等の開催回数の増加 : 38回（H28） → 増加する  
 ★がん予防推進員数の増加 : 519名（H28） → 700名  
 ★がん対策推進員数の維持 : 5,401名（H28） → 維持する

【現状】 【目標値（2023年度）】

★県がん総合相談支援センター等における相談件数の増加 : 4,530件（H27） → 増加する  
 ★ピア・サポーター数の増加 : 71名（H28） → 155名  
 ★ピア・サポーターによる患者サロン等の開催回数の増加 : 38回（H28） → 増加する  
 ★がん予防推進員数の増加 : 519名（H28） → 700名  
 ★がん対策推進員数の維持 : 5,401名（H28） → 維持する

【現状】 【目標値（2023年度）】

★県がん総合相談支援センター等における相談件数の増加 : 4,530件（H27） → 増加する  
 ★ピア・サポーター数の増加 : 71名（H28） → 155名  
 ★ピア・サポーターによる患者サロン等の開催回数の増加 : 38回（H28） → 増加する  
 ★がん予防推進員数の増加 : 519名（H28） → 700名  
 ★がん対策推進員数の維持 : 5,401名（H28） → 維持する

【現状】 【目標値（2023年度）】

★県がん総合相談支援センター等における相談件数の増加 : 4,530件（H27） → 増加する  
 ★ピア・サポーター数の増加 : 71名（H28） → 155名  
 ★ピア・サポーターによる患者サロン等の開催回数の増加 : 38回（H28） → 増加する  
 ★がん予防推進員数の増加 : 519名（H28） → 700名  
 ★がん対策推進員数の維持 : 5,401名（H28） → 維持する